

このページは、直接入力はできません。そのまま見るか印刷して使ってください!!

おもしろ国語④1



四年生で学習する「くんぎつね」を書いた新美南吉さんの作品には、有名なものがたくさんあります。ぜひ、図書館で探してよんでみてください。今回は、その中の一つ、「手ぶくろを買いに」の一部を紹介します。声に出して読んでみてください。つづきが知りたくなりませんか。

手ぶくろを買いに

新美 南吉

(略)

間もなくほらあなへ帰ってきた子ぎつねは、



「お母ちゃん、おててがつめたい、おててがちんちんする。」

と言って、ぬれてぼたん色になった両手を、母さんぎつねの前にさ

し出しました。母さんぎつねは、その手にはあつと息をふきかけて、

ぬくとい母さんの手でやんわりつつんでやりながら、

「もうすぐあたたかくなるよ。雪にさわると、すぐあたたかくなるもんだよ。」

と言いましたが、かわいいぼうやの手にしもやけができてはかわいそうだから、夜になったら、町まで行って、ぼうやのおててに合うような、毛糸の手ぶくろをかってやろうと思いました。